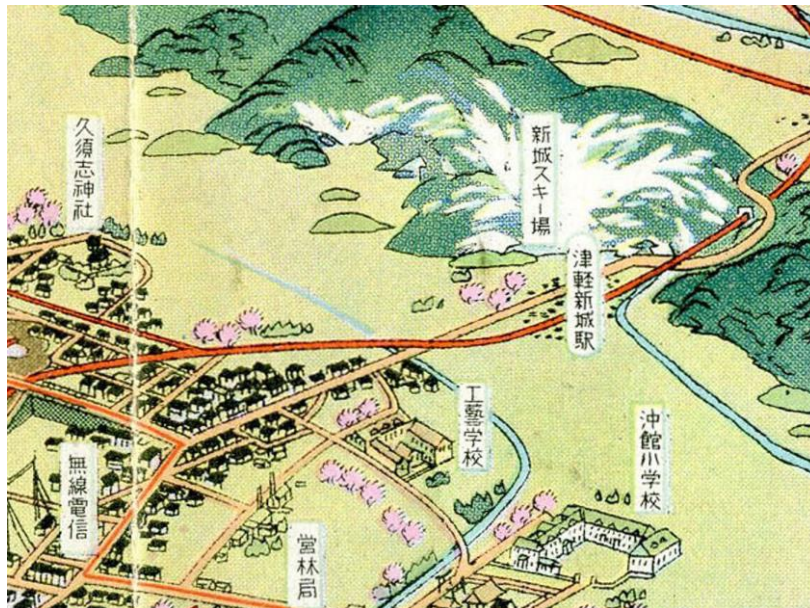


こんにちは。嘱託員の村上です。今月4日から8日まで、大鰐町で第65回全国高等学校スキー大会が開催されましたね。大鰐村（大正12年〈1923〉に町制を施行）は大正11年12月にスキー練習場が設置されて以来、スキー競技を行う環境が整備され、さまざまな大会の会場として利用されてきました。

さて、大鰐村にスキー練習場が設置された年、青森市近郊にもスキー練習場が設置されていました。それは、新城村にあった新城スキー場（現在の新城中学校付近）です。



鳥瞰図に描かれた新城スキー場
(昭和7年「青森市鳥瞰図」、歴史資料室蔵)

しかも、新城村にはこのスキー場が設置される前からスキーの練習場所がありました。なんと、青森県で初めてスキーの講習会が開かれた場所は新城村だったのです。明治45年（1912）1月8日、東京高等師範学校の教授でスキーの普及活動を行っていた永井道明^{ながいどうめい}が青森を訪れ、学校の先生や新聞記者に対しスキー（当時の新聞では「スケー」、「雪滑り」、「氷滑り」と表記していました）の講習を行いました。会場は新城村石江の農事試験場付近でした。その後も青森郵便局逋友スキー倶楽部のスキー練習会（大正6年）や、青森中学校生徒によるスキー練習（大正7年）などが新城村で行われています。



新城スキー場
(昭和8年「青森名所案内」、歴史資料室蔵)

そして、大正 11 年 2 月 5 日に新城スキー場が設置され、翌日から青森県教育会主催の第 1 回スキー講習会の会場として使用されました。講習会は 7 日間の日程で行われ、途中、県知事の尾崎勇次郎も参加しました。さらに、講習最終日の 2 月 12 日にはスキー競技大会が開催され、長距離競走などの競技が行われました。新城村の人々は赤飯やさつま汁を用意し、救護班を組織するなど大会運営に協力しました。

新城スキー場は近くに津軽新城駅があつて交通の便がよいことから、多くの市民に利用されました。新城村は青森県におけるスキーの普及に大きな役割を果たした場所なのですね。

※今回の内容は『財団法人青森県スキー連盟 80 周年記念誌 HUMAN DOCUMENT』（2005 年、財団法人青森県スキー連盟）などを参考にしました。